

「光量子デバイス研究室」紹介

(2号館:610室)

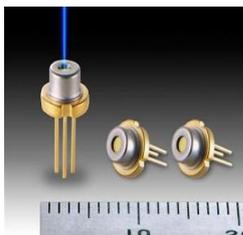
担当 五島

研究室概要

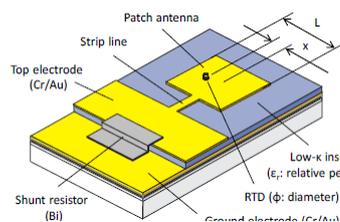
10年後の実用化を目指した基礎研究と、数年後に実用化できる応用技術！ 2つのスローガンのもと光と電子回路の融合を目指した研究を行っています。他大学、国立研究機関、企業と連携して研究しています。

近年の研究テーマは大きく4つです。

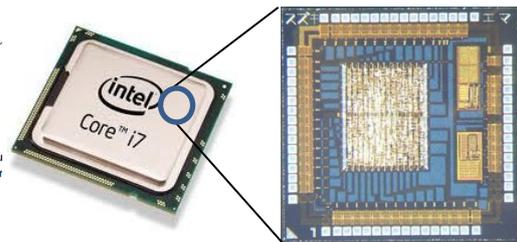
- 1. “量子ドットという 特殊な半導体を光デバイスとして応用する研究”**
- 2. “THz(テラヘルツ)発振デバイスの研究”**
- 3. “集積回路 LSI の設計開発(アナログチップ、AIチップなど)”**
- 4. “非ノイマン型コンピュータの研究(ディープラーニング、量子計算)”**



(量子ドット光デバイス)



(THz発振デバイス)



(積回路設計, 実際に設計したチップ内部)

研究室の流れ:

週に1回の勉強会ゼミと、月に1回で研究状況の報告会を行います。

イベント:

飲み会やゼミ旅行、バーベキューなど、レクリエーション (学生の自主企画)

モットー:

4年生は答えの無い問題に取り組む1年です。どう向き合い、克服するかが重要だ!